

④8 豊橋市立つつじが丘保育園整備事業 (とよはし公共建築学生チャレンジコンペティション)

受賞機関 豊橋市

キーワード 地域の風土とともに育つ保育園、木造・木質化、学生コンペ

全建賞審査委員会の評価ポイント

全国114組の学生から寄せられた提案の中から段階的に選考された建築アイデアをもとに、提案した学生自らが公共建築整備事業の企画・設計段階に主体的に参画する取組により、東三河の地域産材を活用した木造・木質化と子どもの自発的な活動を促す多彩な保育空間を備えた施設を実現した点が評価された。

1. はじめに

本事業は、老朽化及び狭隘化が課題となっていた既設保育園の移転新築整備事業である。

0・1・2歳児を対象とした保育園の建築計画に際して、「地域の風土とともに育つ保育園」をテーマに、「とよはし公共建築学生チャレンジコンペティション」を実施した。全国の学生から寄せられた魅力的な建築アイデアを、実際の施設整備に反映させた。

2. 事業の概要

令和4年度に実施した「とよはし公共建築学生チャレンジコンペティション」は、施設計画への学生の主体的な参画機会を提供する取組として、次の3段階で構成した。

①建築アイデアの提案応募 114組

②建築計画検討ワーキングへの参加 4組

(提案アイデアを建築計画として具体化)

③建築計画提案者として設計実務に関与 1組

これらの取組を通じて、建築を志す若者に公共建築整備の魅力を伝え、将来、公共建築の営繕業務を担う人材の育成を目指した。また、これらの課題に真剣に向き合う学生たちの姿は、発注者である自治体営繕技術者にとっても、企画・設計段階における本来の役割や業務の魅力を再認識する契機となった。

事業経緯：

令和4年11月～令和5年9月 基本・実施設計

令和5年12月～令和7年2月 建設工事

令和7年4月 開園

3. 事業の成果

学生の柔軟な建築アイデアを生かし、本施設の特徴である「みんなのニワ」、「さんぼミチ」、「かくれニワ」を骨格とする基本プランが実現した。

保育室と園庭という屋内外の保育環境を、中間領域である「縁側」で緩やかにつなぐ配置により、子どもたちの自発的な活動を促し、天候に左右されず多様な保育を展開できる空間となった。



「みんなのニワ」を中心に回遊する「さんぼミチ」

構造面では、小屋組みを現し、軸組に真壁工法を用いたシンプルで開放的な木質空間とした。東三河の地域産材を中心に国産木材を使用し、地域の温暖な気候や身近な自然環境を積極的に取り込んだ。また、高さを抑えた連続した切妻屋根の外観は、周辺の街並みと調和し、新たな景観を創出した。



地域の風景、周辺の街並みと調和する建物外観

4. おわりに

本施設は、乳幼児期子どもたちが初めて社会に触れる場となる。本施設で得られる豊かな体験が「地域の風土」の記憶として心に刻まれ、子どもたちを健やかに育む拠点となることが期待される。